

G.R.E.S. インペラトリス・レオポウヂネンセ 2013 年  
“パラ—ブラジルのムイラキタン(護石)”

「*真実の強き裸体の上に、幻想の透明のマント*」(エッサ・デ・ケイロス)

さらに力を込めて右足で地面を踏みつけ、その後、前方に唾を吐きだした！かすれた声で2・3回こう発した。「エ、ヤ、ヤ、ヤ\*1」そして次のように語った。

クアラ\*2 が日の始まりを織り成す

朝のことだ！

オビー\*3 は、それを見る者の眼の網膜を染める

蛇のガラガラ、柄のジャガー、オオカワウソ、オオシラサギ、ショウジョウトキ！

森の匂い

始めに鳴くのはウイラプルーだ

私は手を緑の石に寄せる:幸運を与えたまえ、ムイラキタン\*11 よ！

イビトウ\*4 が吹き水の行先を左右する

アニンガウ\*13 の緑をアペクイ\*5 させる

緑の葉の後ろにトウピナンバー族の人々が見える！

その身体には、神聖な羽毛のマントをまとい

その魂には、王者ハイタカの力を宿す！

インディオの祝祭、儀式の日！

カラジャー、タパジョー、カイアポー、アラーラ、アラウェテー、ムンドウルクー、アスリニー\*12 の各部族

私はこの辺に見当たる全ての者のモルビシャーバ\*6!

緑の中で、私は富と出会った。インディオの「宝石」と！

「*カライーバ\*7*」が好んだ富:

アサイーの風味、クプワスーの繊維、トウクマン、タペレバー、バクリー\*14

川魚、イナジャーの芯！

私の物だが、彼らが欲しがる！

欲望が大きな船に乗って我らが海を渡る

マピングワリ\*8 の眼が見る

ボイウーナが水をアペクイ\*5 させる

そこに人がやってくる！あらゆる方角から人が。

ターバ\*10 では身体に色を塗り、戦いに備える

雷神トウパンが空を轟かす！  
彼らが求める富は大自然の胸にはぐくまれている  
彼らは何もかもを少しずつ求める  
丘で採れる金から、  
木の幹の傷から流れる液まで  
どれも彼らの眼を輝かせた！

ゴムは、時からまだ消すことができない「財宝」！  
ここにある。今この時にいたっても  
家の正面に  
劇場の美しさを輝かせるクリスタルに

今現在にいたってもこうだ！  
こちら側に見られる富について語るならば  
まずは森に戻らなければならない  
この土地の主は、  
自然との付き合い方を教えてくれる人だ  
それは、この森から集められた種が  
他の土地を豊かにするからだ  
未開の森に別れを告げ、磨かれる、カボクロの宝石、  
加工職人の夢

往時、人々は、この地の人々に学び  
自然を敬った  
人々はみな、通りに出て歌った  
マラジョー島で、サンタレンで、あるいはベレンで  
我が民は祝う

用意せよ、ジャンプー<sup>\*15</sup>を干しエビを、トウクピー<sup>\*16</sup>を、マンジョッカを  
みんなにふるまえ、タカカー<sup>\*17</sup>よ！  
「牛」を通りへ連れ出せ  
イルカを称える祭を行え！  
マルジャーダ<sup>\*20</sup>をかけて、踊らせろ！

花柄のフリルスカーツ

少年は周りを巡り、少女は回る  
人々は輪になって歌う、このうえなく美しく  
カリンボー\*19 とシリアー\*18 を踊る！  
パラ州民が「トレーミ\*21」(震え)る！

職人は、捧げものとして最高の品を作った  
わら細工、焼き物、麻織物  
ひょうたんで器を作り、ミリチ(ヤシ)で遊べる芸術を作った！

巡礼者は両手を挙げる  
空を染める青を、その両目で見つめる  
聖女はそのカボクロの願いを聞いた

10月となった！  
我が民は既に通りに揃っている  
カーニバルの神殿からは、花で飾られた輿とベルリンダ\*22 が見える  
人々の声につれて、歌がまた響く  
願うのは熱狂的な観客  
本日、敬虔な巡礼者として願う：

ああ聖女よ！  
今度の水曜日の灰の中で、私に与えたまえ  
今ひとたびの勝利への道を  
一生続く喜びを！

パラ、その味覚、かおり、人、伝統  
それがこの通りに至る  
そして世界の眼に向けて紹介するのがインペラトリス：  
未来には、後進が辿るべき模範

**カルナバレスコ：**  
カエー・ホドリゲス、カカー、マリオ・モンテイロ

**調査・執筆：**  
カエー・ホドリゲス、レアンドロ・ヴィエイラ

注(用語集)

1. エ、ヤ、ヤ、ヤ(Hê, hyá, hyá, hyá)– トウピナンバーの歌
2. クアラ(Cuara)– 太陽
3. オビー(Oby)– 緑
4. イビトウ(Ibitu)– 風
5. アペクイ(Apekúí)– 騒がせること
6. モルビシャーバ(Morubixaba)– 酋長、部族長
7. カライーバ(karaíba)– 白人
8. マピングワリ(Mapinguari)- 全身を毛が覆う、巨大な猿に似た怪物。額にひとつ眼があり、腹にまで達するほど巨大な口を持つ。
9. ボイウーナ(Boiuna)- 大蛇
10. ターバ(Taba)– 集落、場所
11. ムイラキタン(Muirakitã)- インディオの幸運のお守りの一種
12. カイアポー、ムンドウクルー、アシリニー、タパジョー、トウピナンバー (Kayapos, Mundurucu, Asirini, Tapajós, Tupinambás)- インディオの部族名
13. アニンガウ(O Aningal)- アマゾン川流域の島々、特にイガラペ(三日月湖)と本流とに挟まれた地域特有の植物
14. クプワスー、トウクマン、バクリー、タペレバー(Cupuaçu, Tucumã, Bacuri, Taperebá)– 地域特産の果物
15. ジャンブー(Jambú)- ブラジル北部、特にアマゾン地域およびパラ州特産のハーブ
16. トウクピー(Tucupi)– マンジョッカの根からつくられる調味料およびそれを用いたソースのこと
17. タカカー(Tacacá)- アマゾン、特にパラ州の地域を指す別名
18. シリアー(O Sirιά)- パラー州カメター市発祥のダンス
19. カリンボー(O Carimbó)- パラー州民によるダンスと歌を合わせた、最も常軌を逸した芸術的創造性の発揮スタイル
20. マルジャーダ(A Marujada)– パラー州民の宗教儀式の内、最も美しいもののひとつ
21. 「トレーミ」(O "Treme" )- パラー発祥の最近のリズム。同州の複数のリズムと電子音楽を混合したもの
22. ベルリンダ(Berlinda)– 巡礼行進の際にナザレ聖母を運ぶドーム

(注釈対象、順番はシノプス原文のまま。番号付および本文連携は訳者)

(サンバ・エンヘッド)

作： ミ・レーヴァ、ジウ・ブランコ、チアオン・ピニエイロ、ドルモン、マニーニョ・ド・ポント

クアラ(太陽)が輝いた！  
人々の眼にうつるはオビー(緑)！  
私は足を地面に踏みつける、これが私のあいさつ  
自由に純粹に生きる！  
河の水の流れるところに吹く  
野心の風！  
インディオはそのとき、、、  
侵攻勢力を前にしても屈しなかった  
そして欲望から戦いが起きた  
この土地の富を血で汚した！  
傷を負い、遺産として残した  
今ここに見られるもの、、、  
この小道に、愛と平和の「州(状態)」！

シリアー、カリンボー、そしてマルジャードを私は踊った！  
揺れるモレーナの姿に、私は惚れた！  
私の味覚には、素晴らしい味付けが、、、  
緑と白でパラ州民は「トレミ」(震え)る

手から花開く芸術  
創造主、それは自然に起因する  
私の韻文に編み込まれた麻から  
妙なる美しさをもった詩ができる  
ああ、母よ、聖母よ、私はあなたを訪ねる巡礼者  
あなたへの祈りにこめて宣言する：  
ああ、母よ、いつか私が力尽きる日が来ても  
あなたの眼から発せられる光が  
私を祝福してくれることだろう！

北に、私を導く星がある  
世界の模範：パラ！  
我が国の護石、  
インペラトリスの幸運！